



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司祭は聖人を目指して欲しい

聖香油ミサで中野司教が説教

4月16日(火) 鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂で、恒例の「聖香油ミサ」がささげられ、教区各地から駆けつけてきた司祭たちが中野司教とともにミサをささげ、司祭職制定を記念するとともに司教と司祭の絆を確認した。

午前11時からの今年の聖香油ミサには中野裕明司教と郡山健次郎名誉司教、これに31人の司祭と終身助祭5人が加わりミサを進めた。また会衆席にはハンマ神父と3月3日から心不全のため入院中で、この日外出許可を受けた竹山昭神父の姿もあった。

池上利男終身助祭によるルカ福音書の朗読後に説教した中野司教は、目指す司祭のイメージについての調査で司祭たちから返答の多

かった「普通の司祭」という表現について語り、「普通の人間でありながら、油を塗られ、神のわざによって司祭になった者には聖人を目指して欲しい。そして信者にも司教や司祭のために祈って欲しい」とメッセージを送った。

その後、集まった司祭たちは司教とともに「司祭の約束の更新」を行い、集まった130人余りの信者たちも司教、司祭たちのために祈りをささげた。

この日のミサの中では、司教によって病者のための油、洗礼志願油が祝別、また聖香油が聖別された。またミサの終わりに、人事異動で鹿児島教区を離れる関根神父、萩原神父、またドイツへと帰国するアッシャー神父に花束が渡されたほか、今年度から新任地に赴任する司祭たちに任命書が手渡された。

教会を支える三つの柱を説明 中野司教が種子島教会訪問

中野裕明司教が3月17日、種子島教会を訪問した。四旬節とは「どんな苦しい時でもイエスに従って歩む」という信仰を確認する季節」と説教。また定例司祭集会で示した「教会を支える三つの柱」(神の言葉・秘跡・愛の業)について説明し、「これを各々が自覚して生活すれば、自



ずから福音は伝わる」と説いた。中野司教が種子島教会を訪問するのは、鴨池教会助任司祭の頃、子ども達のキヤンプの引率で訪れて以来、約40年振りとのこと。この日は、司教着任の挨拶も兼ね、「教会を支える三つの柱」について説明してほしい」との主任司祭・栃尾泰英神父の依頼にこたえて

訪問した。中野司教は、ミサの説教で、この日の福音である「主の変容」を取り上げ、「主の変容を境にイエスの公生活が前後に区分される」と説明。前半をイエスが奇跡を表した、弟子たちにとって「楽しい時」、後半をイエスが受難に向かって歩む、弟子たちにとって「苦しい時」とし、四旬節を「どんな苦しい時でもイエスにならい、イエスに従って歩む」という信仰を確認する季節」と説いた。

また、今年の1月の定例司祭集会で示した「教会を支える三つの柱」について、三つの柱を、①神のことば②神の呼びかけ、③秘跡④交わりと一致、⑤愛の業⑥実行と証しと説明した。「私たちは各自の意志で教会に集っているわけではない。神の呼びかけにこたえて集い、交わりを持って

一致し、各々の生活の中で神のみ旨を実行し、証しながら暮らしている」と中野司教。「これを司祭・信徒の各々が自覚し、意識して生活すれば、自ずから福音は伝わる」と説いた。この日、約30人がミサに参列。ミサの後、中野司教を囲んで懇親会もあった。種子島教会について、栃尾神父は「母性的な教会」と表現。「フィリピンやベトナムの人たちも馴染んでいる。とても入りやすく、親しみやすい教会」と紹介した。

信徒会長の串間静夫さんは、種子島教会の現状について、「全体として人数が少ないため、修繕など、積み立ててもなかなか難しい」とこぼす。「それでも、少数ながら、子どもたちも集まってくれる。中野司教の説教を励みに、皆が負担に思わず集えるような教会にしたい」と話した。(報告・諏訪勝郎助祭)

5月26日は世界広報の日

福音宣教はわたしたちの使命です。「世界広報の日」は、この福音宣教の分野の中でもとくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、インターネットなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。日本のようにマスコミや技術の進歩している国で、広報が社会や文化に及ぼす影響ははかりしれないものがあります。広報の重要性を再認識し、広報を通して社会と人々にどのようにかかわっていくことができるか、また、実際どのようにかかわっているかを考えることが大切です。

「世界広報の日」は、第二バチカン公会議で定められ、1967年以来、毎年教皇メッセージが出されています。なお、多くの国では復活節第7主日をこの日に定めています。



の理由により、開催日の検討がなされ、他の日に移動していただきました。多分、

司教の手紙

皆様お元気でしょうか。鹿児島教区はこれまで「ザビエル上陸記念祭」を8月中旬に日時を変えて祝ってきましたが、今年(渡来470年)から、8月15日に固定したいと思います。その理由をお話しします。

8月15日は①聖母被昇天の祭日、②終戦記念日、③日本の教会主権の平和旬間の最終日、④聖フランシスコ・ザビエルの鹿児島上陸の日、⑤盆(死者の霊を祭る仏事)の五つの記念すべき事柄が集中している日になっているため「人が集まりにくい」「どの点を強調したらいいのかまとまらない」など

8月15日を「キリスト教伝来記念日」として祝う

鹿児島教区司教 中野 裕明

ます。③は広島平和記念日(6日)から始まり、長崎原爆の日(9日)を経て戦争終結の日につながる。日本の司教団は、この10日間を「平和旬間」と定め、平和の意味を考え、平和を実現する人(マタイ5・9)が増えるようキャンペーンをしているわけです。残します。①聖母被昇天祭と④聖フランシスコ・ザビエルの上陸の日も繋が

からです。実は聖母マリアが、死後霊肉ともに天にあげられたという教えは12〜13世紀の頃からカトリックの世界に広まっており、それを全世界の教会で信すべき教義として公布したのが教皇ピオ12世だったというわけです。なぜ教皇が1950年の時点で、聖母の被昇天を教義として公布したかといえ

ば、忌まわしい第2次世界大戦の開始から数えて10年後、教会が人類の憎悪を掻き立てる悪魔の奸計に二度とはまることがなく死後霊肉ともに天にあげられた聖母マリアを賛美しながら、教会の表象である聖母マリアに倣い、その執り成しを記念するようにとの教皇の熱い思いがあったからだといえます。こう考えると、聖ザビエルがその書簡に鹿児島上陸の日が偶然にも聖母の祝日であったこと、しかもそのことを2度も記していることなどから、聖母に感謝したに違いないと思います。そしてその日は、わが日本国民にとって終戦の日、その日を境にもうこれから戦争をしません、平和を構築しますと誓う日でもあります。実に福音がもたらされた日であるのです。その意味で、その日を「キリスト教伝来の記念日」と称したいと思えます。なお、蛇足ながら、聖ザビエルの上陸記念碑は下関にもあるため、インパクトが薄れてきたという印象がぬぐえませんか。あしからずお許し下さい。

2019年

鹿児島教区の聖職者たち



入来教会
ハンマ神父



大口教会
橋口啓悟神父



川内教会
メニッヒ神父



阿久根教会
坂本 進神父



出水教会
鄭成淙神父



教区本部
末吉卓也神父



教区長
中野裕明司教



ザビエル教会
竹山 昭神父



ザビエル教会
小隈憲士神父



玉里教会
李秉徳神父



吉野教会
鄭法鍾神父



始良教会
アン神父



国分教会
サンタマリア神父



溝辺教会
朴利奎神父



加世田教会
朴鎮亮神父



指宿教会
郡山健次郎司教



谷山教会
ボスコ神父



谷山教会
頭島 光神父



紫原教会
山口好信神父



鴨池教会
泉 浩二神父



ザビエル教会
李秉徳神父



聖心教会
ティエン神父



大熊教会
タム神父



瀬留教会
宋診旭神父



大笠利教会
内野洋平神父



種子島教会
栃尾泰英神父



垂水教会
丸野六雄神父



志布志教会
寝占敦之神父



鹿屋教会
ディーノ神父



母間教会
福崎英雄神父



古仁屋教会
金熙一神父



古仁屋教会
松永正男神父



古田町教会
田端孝之神父



古田町教会
金熙一神父



古田町教会
柳本繁春神父



古田町教会
松永正男神父



小宿教会
鈴木康由神父



神学院
諏訪勝郎助祭



引退
成相明人神父



引退
田原 章神父



留学
霧島 彬神父



留学
貴島丈弥神父



YBU本部
小川靖忠神父



司教館
永山幸弘神父



和泊教会
福崎英雄神父



川内教会
小島芳武助祭



阿久根教会
石神秀人助祭



喜界島教会
四條淳也助祭



加世田教会
川口 茂助祭



母間教会
池上利男助祭



母間教会
池上聖行助祭



谷山教会
久保俊弘助祭



鴨池教会
桃蘭淳一郎助祭

故大松正弘神父の夢を実現

徳之島検福に「宣教開始」の記念碑建立

徳之島教会の全信徒は3月24日（日）午前10時から中野裕明司教を迎えて、徳之島で初めて福音が告げられた地に記念碑を建立し祝った。記念碑が建立されたのは、徳之島は伊仙町面縄検福にある元信者宅の敷地内。記念碑には「1901年1月パリ外国宣教会ブイジュ神父ここ検福説教所にて宣教する」と刻まれている。

の関東在住の4人の兄弟も参加し建立を祝った。記念日が建てられたのは福田神父の母方の実家の空地。福田家の好意により実現したもの。なお、この事業の立案と調査、碑文作成は昨年10月に急逝した故大松正弘神父によるもの。

記念碑建立が実現して 平土野教会 順 秀子

検福に初めてパリ外国宣教会のブイジュ神父はじめフェリエ神父、ガラシ神父の3人が訪れて118年になります。昨年、今は亡き大松神父から「石碑を建てたら」と提案があり、福田神父が生活なさっていた場所を提供していただくことにより、話がまとまり、実行委員会を立ち上げました。その後、草払い作業から始め土地の整地を行い、また隣近所のご理解をいただくことができた。3月24日（日）には、中野福田正範神父（カルメル会）

こと感無量という表情をされているように思えました。ミサと式典の後は会場を面縄教会に移して祝賀の昼食会を開きました。

私たちが徳之島の信徒は福田神父様、池上聖行助祭、池上利男助祭とともに2年後に迎える宣教120周年を盛大に祝えるよう今から準備を進めてまいります。この石碑建立の検福の地がカトリック教会のみならず、徳之島の巡礼地になつて皆が訪れ、神様を賛美し、ホッとできる憩いの場になると

思っています。昨年3月21日（木）には母間教会で池上利男終身助祭の叙階式があり、各地から多くの方が徳之島に足を運んでくださり盛大に祝うことができたことを心から感謝申し上げます。

教会ではバザーや子ども達のキャンプなど多くの行事があります。これらを楽しみながら主のもとに一つに集まり活動しています。皆さん、是非、徳之島にいらしてください。2年後、お待ちしております。

【司教日程】 3日レデンブートル宣教修道女会ミサ、10日サポート会議（仙台）、12日大熊教会ミサ、19日吉野教会ミサ、20〜28日ローマ訪問、29〜31日仁川教区（韓国）訪問

祈りの意向

【祈祷の使徒会】 福音宣教 日本の教会 アフリカの教会、一致のからし種 子どもの健全な成長

《康由神父の聖書教室(13)》

「完全」について考える



マタイ福音書に於ける「完全」という言葉について、ギリシャ語では「十分に成長する」という意味もある、といったことを以前にお話ししました（2015年11月）。今回は、この言葉をヘブライ語で考えてみたいと思います。

ヘブライ語でも「完全」を意味する言葉はいくつかありますが、その特徴的な

たの神、主の祭壇を築き、その上であなたの神、主に焼き尽くす献げ物をささげなさい。」という中で使われています（27・6）。ここで「自然のまま」と訳された言葉がそれに当たります。ということは、「完全」という言葉には、神様が創られたままの状態、また、手を加えられていない、という意味もある、ということなのです。

この言葉は「何もしくなくてよい」とか「そのままでもいい」ということを意味するのではありません。本来、神の被造物である人間は、そ

のままにして神様を現すものです。なぜなら、人間は神様の似姿として創られたからです（創世記1・26、27）。天の父は自分が神様であることを誇示するかのようなことはなさいません。これと同じで、私たちも信者だからといって、特段、善行などを意識的にする必要はないのです。パウロは「神は、わたしたちが行った義の業によつてではなく、御自分の憐れみによつて、わたしたちを救ってくださいました。」と語ります（テトス3・5）。また、教義にもあ

るように、人間がなす善行のすべては神様とキリストの助力によるものです（D S 1546）。つまり、聖霊や恩恵が注がれた結果、人間は善行をなせる、と言えるのです。

私たちが神様の前で「ありのままにいる」[即ち「完全な者」]になる、ということでは、私たちの働きによるものではありません。ヘブライ語に基づけば、被造物である私たちが、自分自身を神様に明け渡すことにあると言えるのではないのでしょうか。

四旬節献金・年間寄付金などでお支え頂いた活動内容をお伝えしています。

会と催し 5月

- 3日（金）聖フィリポ 聖ヤコブ使徒 ▼レデンブートル宣教修道女会誓願宣立記念ミサ・鹿兒島修道院・11時
- 5日（日）復活節第3主日
- 11日（土）パストラルケア講演会「ホスピスでの現場体験からの学び」・13時30分・教区本部
- 12日（日）復活節第4主日 ▼世界召命祈願の日
- 17日（金）ディーノ神父叙階記念（1998年）
- 19日（日）復活節第5主日
- 20日（月）ディーノ神父霊名（聖ベルナルディーノ） ▼レデンブートル教会例会
- 21日（火）聖マリア学園監査・教区本部・9時30分
- 22日（水）聖マリア学園評議員会理事会・教区本部・9時30分
- 26日（日）復活節第6主日 ▼オリーブの会・教区本部・14時 ▼世界広報の日（献金）
- 28日（火）市民クリスマス実行委員会・教区本部・19時
- 31日（金）聖母の訪問 ▼タム神父叙階記念（2007年）

シスター泉キリエの講演会

「ホスピスでの現場体験からの学び」

日時 5月11日（土）13時30分
場所 教区本部会議室 参加費用 千円
問い合わせ 福沢 Tel.090（2083）9223

排除「ZEROキャンペーン」写真展について

カリタスジャパンは国際カリタスからの呼びかけにこたえ、国内においてキャンペーンを実施しています。

鹿兒島教区内の開催日程は以下のとおり
①5月12日（日） 母間教会 ②5月19日（日） 始良教会 ③5月26日（日） 国分教会 ④6月2日（日） 加世田教会 ⑤6月9日（日） 川内教会

ウガンダの旅2018

④朝のミサにあずかる

谷山教会信徒 岩崎正幸

ワールド・ビジョン・ジャパンを通じて貧しい国の子どもへの支援が続いているラ・サル学園教諭の岩崎正幸さんは、昨年夏、支援している子どもがいるウガンダを訪問した。教区報では、生徒のためにと執筆した「ウガンダの旅2018」の4回目。

旅の2日目、7月29日曜日、夕刻の主日のミサにて延々説教を聞く。一向に終わる気配がない。もう6時を過ぎてしまい、最後までいるのはあきらめる。教会のビルを出たところに、露天商。ロザリオやご絵などが並べてある。そういうえ、ロザリオ会入会の際のプレゼントとしてのロザ



朝ミサの前のロザリオの祈り

（今）ロザリオ会に入会すると、ウガンダで買ったロザリオももらえます。先着5人。またホテルに入るときに二重のセキユリティーチェックスを受け、夕食会場へ。夕食はバイキング。メニューにはあまりウガンダらしきはなく、日本でのバイキングとほぼ同じ。ただ、お米はいわゆるインディカ米。黄色い皮のパッショフルーツを初めて

見た。味は同じ。ビールを注文する。500mlで1万2千シリング。5桁に少しづつ慣れてきた。これは400円くらい。ビールにしては高いけど、高級ホテルのレストランなら普通、いやむしろ安いくらいである。ウガンダを代表する銘柄らしく、「ナイル・スペシャル」と書いてある。アルコール度は少し高めだが飲みやすい。となりに座った女性に勧めたが「まったく飲めないんです」とあっさり断られた。いろいろ話をしていくうち、そのVさんは中部地方からいらしているカトリック信者ということがわかる。普通のツアーだったら、カトリックの人と隣り合う確率はほぼ0だろうけど、WV（ワールド・ビジョン）がそもそもキリスト

教系のNPOなので、そういうこともあるかなあとは思っていた。部屋に戻ってからさつそうく絵ハガキ、浅井先生から預かってきた2人への返事を書く。日本まで、という2枚で7千6百シリングの請求。もう4桁では驚かない。この日出したハガキ、午前授業までには着いていたそう。

旅の3日目、7月30日曜日、朝5時ごろ起床。ひとりで抜け出し、朝のミサへ。だいたい主日（日曜日）以外のミサは6時半始まりが相場なのだが、ひよつとすると6時というこども、という6時前に例の王であるキリスト小教区へ。今度はいわゆる聖堂の中に入ることができた。聖堂は3階にあった。昨日は、ここからモニターで映していたわけだ。確かにカメラが設置してある。この3階の聖堂だけでも200人は入りそうな広さだから、昨日のミサはいったい何人が参加していたのだろう。しかも、夕刻5時

台のミサだったら、何かの都合で、午前のミサに参加できなかった人たちがたつたはず。ウガンダのカトリックの勢力はすごい。聖堂に入ったら、もうすでにロザリオの祈りが始まっていた。主日でもないのにロザリオとは熱心である。6時20分にミサが始まる。「半端な時刻やなあ」。それにしても、いったいどのくらい時間がかかるのやら心配になってきた。主日以外のミサは30分がこれまた相場。ツアの朝の集合は7時50分、朝食もまだなので、7時を過ぎたらまた途中で出ることにしよう。それにしてもミサが始まったあとからも続々と人が入ってくる。150人は下りそうもない。説教のこともだが、聖体拝領（ミサの中で聖別されたパンを列になり一人ひとりいただく）にかかる時間がどのくらいなのか心配になってくる。主日以外は説教が省略されることが多いが、しつかり説教があった。でも短かった。助

かった。いよいよご聖体拝領。とんでもなく長い列になることをおそれていたが、なんと、半分くらいしか列に並ばないではないか。それはちゃんと準備ができた人しか、ご聖体をいただくものなのかもしれないと、わが身をやや恥じた。ミサはきっかり30分で終了。ホテルへ戻り、バイキングの朝食、いよいよ支援地へ向かうワゴン車に乗る。

短信

辞令交付式

教区が経営母体となっている学校法人カトリック大隅学園と学校法人聖マリア学園合同の辞令交付式が3月29日（金）ザビエル教会で実施され、両学園から70人余の職員が出席した。式では理事長訓話があったほか新任、中堅、主幹のそれぞれ代表が抱負や決意を述べるなど新年度に対する意気込みで満ちていた。

キッパス神父の黙想会

内面的な生き方～信仰を活かす生き方
6月1日（土）～2日（日）/10月26日（土）～27日（日）
場 所 マリア山荘
参加費 10,000円（宿泊代・食事代含む）
但し、1日目の昼食は除きます。1日だけの参加も可能です。
申込先 TEL090-2083-9223（福沢智子）

とそ子ども食堂

寄付は下記の口座にお願いします。
☆ゆうちょ銀行：とそ子ども食堂
店名 七八八 店番 788
普通預金 口座番号 3225173
☆鹿児島銀行：とそ子ども食堂県庁支店 普通預金 3019349

文芸



短歌

鴨池教会 前田儀子

細胞に食ひ込む癌を思ひ
つつ眠れぬ夜の雨は激し
き
眠るごと棺の小窓に弟は
ふたたびまなこ開くるこ
となく
青空に満開の櫻美しく映
え戦争なき世いついつま
でも

吉野教会 中江均

大空に垣間見えたりみ手
の技何を告げるやブラッ
クホール
元氣かと問われし知己へ
現役と八十路恵まれわが
みち辿る

国分教会 市来房枝

山桜両側に咲く道を降り
教会へ行く日曜の朝
教会の庭にみのりしオリ
ーブをピクルスにして神
父は給ふ

KJP（鹿児島正義と平和協議会）通信 5月号

3月22日、県民交流センターで開催された「憲法9条講演会」でのジャーナリスト鳥越俊太郎氏の話。政府は2018年が明治元年から満150年にあたるとして、様々なイベントを開催しましたが、この150年は明治維新から敗戦までと敗戦から現在までの二つに分けて考えなければなりません。前半の77年は戦争の時代、後半の73年間は戦争をしない時代と言えます。戦争の時代には日清戦争、日露戦争、満州事変、支那事変、日中戦争、

太平洋戦争など数多くの戦争をしました。日清戦争から日中戦争までは日本軍が勝ち進み、1941年太平洋戦争に突入しました。日本は次第に劣勢になり、本土へのB29による焼夷弾攻撃によって日本中の多くの町が焼き尽くされました。1945年8月6日広島への原爆投下により14万人が、8月9日長崎への原爆投下により7万人以上が亡くなり、日本は敗戦を迎えました。日本はイギリスの植民地主義を手本として「富国強兵」「殖産興業」

の政策を推し進めるために数多くの侵略戦争をしました。後半の73年間は平和憲法（9条）のもと、一度も戦争をしていません。村山談話では、日本が第二次世界大戦においてアジア諸国で侵略や植民地支配を行ったことを認め、謝罪しました。

安倍談話には、侵略の歴史がありません。現在の政府は戦前の歴史を賛美しています。憲法9条②項の「戦力は保持しない」を改悪して自衛隊を明記することを目指しています。安保法制でも戦争をする国、アメリカと共に戦うことを目指しています。

このような状況を苦々し

く思っている人は平成天皇ではないでしょうか。天皇は11歳で敗戦を迎え、戦争の悲惨さと戦後の国民の苦しさを実感されています。アメリカの作家ヴァイニング夫人を家庭教師とし、その影響も受けられたと思います。天皇が在位中特に大切にされたことは、戦争で亡くなられた人々に対する慰霊の旅でした。遺族と話される時はひざまずいて、国民と同じ目線で話してこられました。次の天皇もこのようなあり方を引き継いで頂きたいと思っています。

現在の日本はアメリカの植民地と言っているのでしょうか。国内に米軍基地が135か所、首都東京には8か

社会問題の分かち合い

（毎月第三土曜日）
日時 5月18日（土曜日）13時～16時
場所 教区本部
内容 原発・改憲・沖縄問題についての情報交換その他